

災害碑調査票

支部	都道府県	File No.	0. 本部(関東)	14. 神奈川県	1
名称(碑名)		豆相大震災歿死者霊位			
地理院地図への掲載	碑の材質	記載あり(ID:14382-006)	安山岩		
建立日	建立者	1931	—		
住所(場所)		神奈川県足柄下郡箱根町箱根			
北緯	東経	35.196677	139.005203		
標高(m)※		730.5m			
災害の種類(災害名)	分類	北伊豆地震	1. 地震		
発災年月日	西暦	1930年11月26日			
	和暦	昭和5年11月26日			
災害碑の特徴(碑への記載内容)		昭和5年(1930)11月26日の早朝、丹那盆地付近を震源としたマグニチュード7.3の北伊豆地震が発生した。この地震により土砂崩れが発生し、御料局(当時)の造林作業に従事していた人たちの宿舎が芦ノ湖へ押し流され、8名が犠牲となった。			
碑建立の背景(応用地質的考察)		1930年北伊豆地震の約90年後に、2019年の東日本豪雨災害の際、箱根で連続雨量1000mmを記録し、多くの斜面崩壊が発生した。本被災地でも複数の表層崩壊が発生し、崩壊土砂は石碑まで達した。崩壊の誘因は、地震と豪雨で異なるが、本斜面は危険であることを示している。また、その斜面崩壊の繰り返し性を示したものであり、ここではその間隔が100年程度の可能性がある。			
その他		<p>神奈川県西湘地域県政総合センターによる石碑の説明版:昭和五年(1930年)11月26日早朝丹那盆地付近を震源としたマグニチュード7.3の内陸直下型地震が発生しました。</p> <p>この地震に伴って北伊豆断層帯(主に箱根町断層、胆那断層、浮橋断層、大野断層、加殿断層、姫ノ湯断層)が動き、被害が出ました。</p> <p>この場所も地震による土砂崩れが発生し、当時この場所にあった御料局の造林作業に従事する人たちが寝泊まりする宿舎が芦ノ湖へ押し流され、八名の尊い命が奪われてしまいました。</p> <p>地震の犠牲となった八名の霊をとむらうために、その翌年この場所に碑が建てられました。</p>			
キーワード		北伊豆地震、直下型地震、箱根、地震、土砂災害、伝承、東日本豪雨災害			
作成者	作成(更新)日	稲垣秀輝	2022年6月1日		



※ 北緯、東経、標高は、地理院地図から転記した。